

ケータイを活用した出欠確認システムから  
授業アンケート、双方向授業への展開

(関西地区FD連絡協議会 出欠確認研究SG)

大阪成蹊大学 福永栄一  
fukunaga@osaka-seikei.ac.jp

関西地区FD連絡協議会 出欠確認研究SGの活動

- 第1回 2008年12月 8日  
出欠確認研究SGの趣旨確認  
各大学の出欠確認の実状と課題報告
- 第2回 2009年 2月16日  
大阪工業大学における出欠確認の現状
- 第3回 2009年 4月24日  
大阪商業大学における出欠確認の現状
- 第4回 2009年 6月26日  
大阪成蹊大学現代経営情報学部における出欠確認の現状
- 第5回 2009年10月23日  
京都文教大学における携帯電話を使つての授業評価アンケートについて

関西地区FD連絡協議会 出欠確認研究SGの活動

<見学会>

2009年1月

携帯電話での授業評価アンケート、出欠確認の見学会を2回  
開催し、延14校、18名参加

2009年6月

携帯電話での授業評価アンケート、出欠確認の見学会を2回  
開催し、延7校1企業、12名参加

<関西地区FD連絡協議会総会>

2009年4月25日

出欠確認研究SG活動報告：携帯電話による授業評価・出欠確認システムの活用について

① 今から出席を取ります。番号を指示しますので、番号を選択する画面を出してください。

② 番号を選択する画面が出ましたか？

③ 番号を指示しますが、「登録してください」というまでは、番号を選ぶだけで登録はしないでください。

④ それでは「」番を選んでください。  
(1以上の1ケタの数字を自由に指示)

⑤ 番号を選べましたか？

⑥ それでは出席登録を押してください。

ログイン画面

ユーザーID  
パスワード

出欠  
出席  
授業評価  
履歴停止復活

学生  
の  
操作

番号選択画面

123456789 123456789

確認して下さい  
[英会話] 有員1  
教員が指示した番号を選べ  
[ ]

[ ] 出席登録

指示された番号  
を選択する

123456789 123456789

確認して下さい  
[英会話] 有員1  
教員が指示した番号を選べ  
[ ]

[ ] 出席登録

登録指示で  
一覧に押す

[ ] 出席登録

I  
MASによる  
出欠確認  
手順

I-MASシステムによる出欠確認の効果

- ・大クラスでも1分でお欠確認できる
- ・集計作業が不要である
- ・リアルタイムに学生の出席状況が把握できる
- ・他の方法に比べ、代返が難しい
- ・4月の第1回目の授業前に履修が確定する

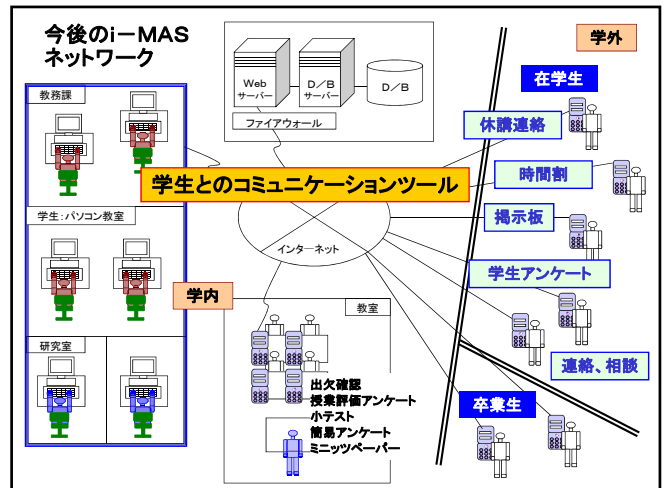
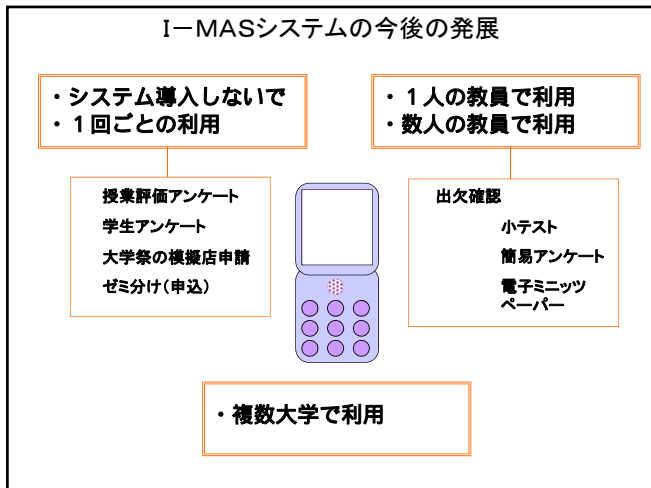
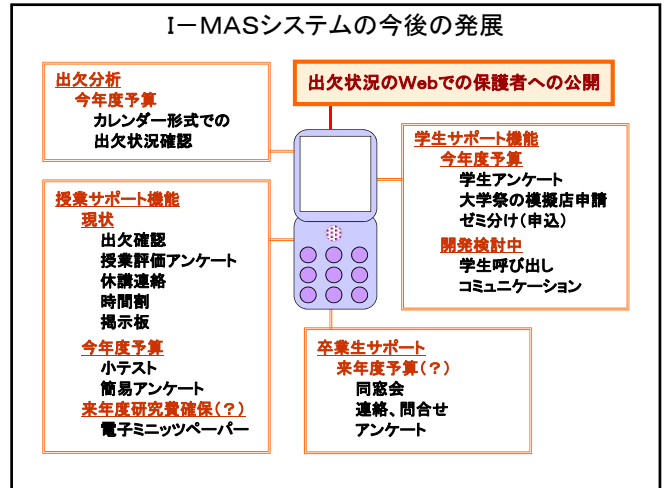
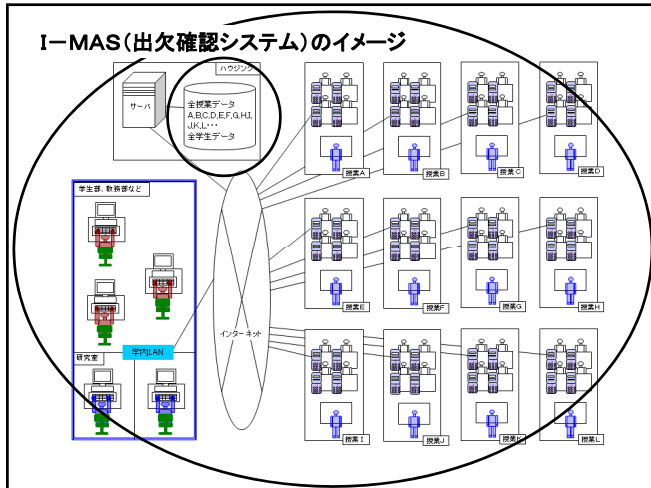
**出席促進効果**  
**遅刻防止効果**

I-MASシステムによる出欠確認の効果

出欠確認方法の違いと、それぞれの大規模クラス(例えば200人)での特徴

出欠確認方法	内 容	時間	効率性	代返
名前を呼ぶ	200人 × 6秒 = 1200秒	20分	良くない	簡単
出席カード	カードの配布と回収	10分	非常に悪い	簡単
	カードの出席簿への転記	90分		
学生証読取	読取装置で学生証をチェック	0分	非常に良い	簡単
I-MAS (携帯電話)	指示番号を同時に登録させる	1分	良い	難しい





### I-MASシステムの利用

(株)青森共同計算センター  
<http://www.iacopen.co.jp/>

I-MAS  
<http://www.iacopen.co.jp/shukketsu/index.html>

I-MASのASP方式利用  
 (出欠確認、授業評価アンケートを教員1人でできる)  
<http://www.iacopen.co.jp/shukketsu/asp01.html>

関西地区FD連絡協議会出欠確認研究SG及びI-MAS  
 に関するお問合せ : fukunaga@osaka-seikei.ac.jp

